

ほうぎょいんとう
平清水秋葉山頂にある宝篋印塔の解説

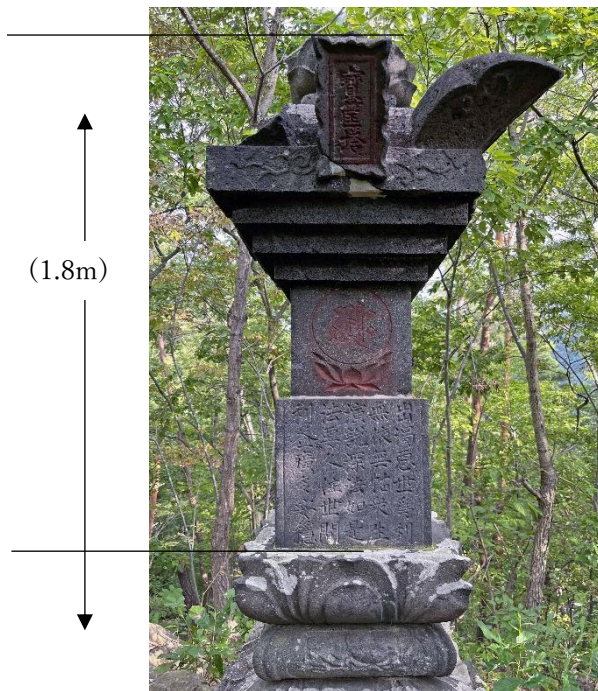


図-2；西面



西面頭部に設置の「宝篋塔」扁額

梵字刻字部；27cm 四方
銘文刻字部；33cm 四方
最下部基礎；73cm 四方

つちのえいぬ
安永7 戊 戌年（西暦 1778 年）建立

平清水耕龍寺裏手の図-1 中秋葉山に建立されている宝篋印塔（図5-2）刻字（銘文・碑文）の解説について記述します。宝篋印塔はあちらこちらにあります、特にこれに興味を持ったのは、別記登場平清水村の「妙現尼（おゆき）」が願主（後記の東面：図-6ab）となっているからです。

1. 塔の刻字のこと

宝篋印塔の四面基礎部には、次頁以降図-3ab～図-6abのような文字が刻まれています。また、塔身部には「梵字」が刻されており同図の上部に記載しています。

2. 刻字解説に至る経過

パソコンの中で検索し楷書に文字起こしをして見ましたが、検出出来ない文字も刻字されています。碑文の意味は皆目見当が付きません。六字五行の定型様式にも見えますが、何かの御経なのでしょう、いずれにしても仏陀の教えはとて有り難くとて有り難いと、そのご利益・功德、神威・仏光に感謝を唱えた言葉なのでしょう。私の浅学菲才の技能では如何ともし難く、しかし、何とか解説したく、次のような経過をたどりしました。

その1；2021(R3)年4月26日（月）の午後、山形大学学生センターおよび東北芸術工科大学を訪問し、解説できる教授はいないか尋ねて来ました。前者は「ホームページを見て、解説出来るような教授を特定してから相談に来い。」 後者は「漢文を読める教授・研究者はいない。」とそっけない返答でした。

その2；2021(R3)年5月4日（火）、この塔がある地主の耕龍寺や「おゆき（南竜山）」と縁がある平泉寺に、解説の有無について確認しているが、何もない、^{N o n}と言われました。

その3；その後5月下旬ついに解説が叶いました。小立の阿部慎悦さんに相談した処快諾があり、毛筆異体文字と現代語との相関を調べられ、読み下しの返り点打ちと粗筋の意識をしてくださいました。

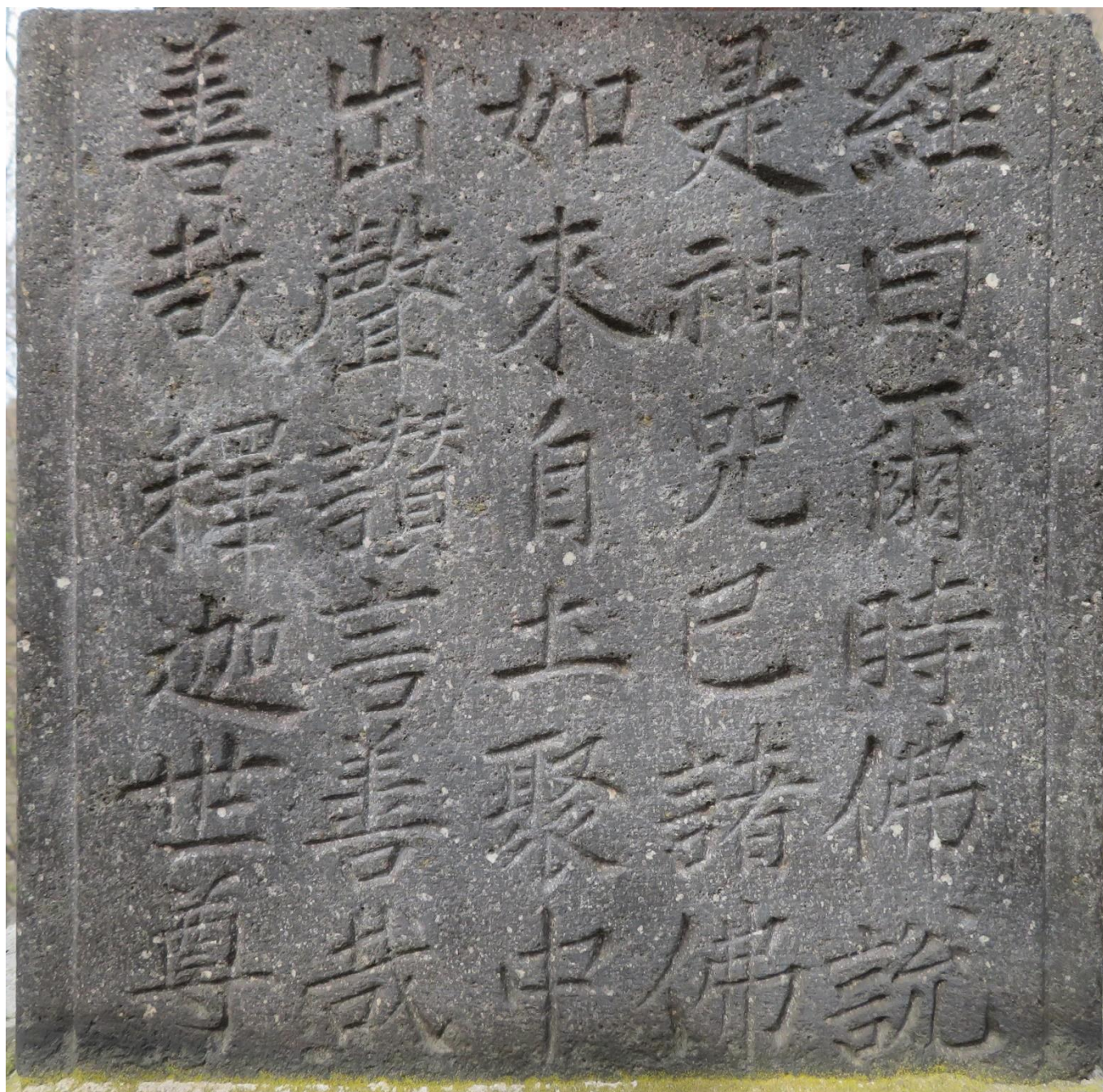
その4；インターネットや書籍で多様な宝篋印塔を見るに付け、特定の御経を印すとは限らないようです。ただ、このものには「宝篋印陀羅尼經」の一節（後記15頁）が見えます。願主となった「おゆき」さんは、何らかの複数の御経が頭にあって、その中の一節を織り込みながらも全体としては自身の信仰心を独自の言葉で綴ったのでしょう。「おゆき」さんは、民衆の信仰を集めた南竜山の開祖であるが故に、当時としては並外れた能力と深き崇高な信仰心の持ち主であり、宗教学はもちろんのこと漢学にも精通していたということでしょう。

その5；なお、後記する意識の処は、頂戴したご意見に私見を加えて記述したことをお断りしておきます、ご容赦ください。



来

キリーク (阿弥陀如来)



南面：図-3a

經曰爾時佛說

是神咒已諸佛

如來自土(土)聚中

出聲讚言善哉

善哉釋迦世尊

南面：図-3b

出濁惡世爲利

無依無怙衆生

演說(說)深法如是

法要久住世間

利益廣多安穩

西面：図-4b



ウーン（阿闍如来）



北面：図-5a

快樂若有惡人

死墮地獄受苦

無間免脫無期

有其子稱亡者

名誦(誦)上神咒
纒(纒)

北面：図-5b



塔

タラーク (宝生如来)



東面：図-6a

至七遍洋銅生熱(熱)

鐵忽然變爲八

功德池蓮生云云

安永七戊戌年十月十五日

村山郡平清水村妙現尼

東面：図-6b

3. 宝篋印塔刻字の意識

☒1～☒5までの文節は私が勝手に区切ったものです。また、分りやすく平易なることを意図しました。したがって、正確な読み下しや忠実な意識からは少しずれているかもしれません。

☒1 經きやうにいわく曰あるとき。爾時ほとけ佛とほ說この二しんしゆ(ん)しゆ、しんじゆ是を 神おえた 咒しよぶつ 一によらい 已より。諸佛つち 如來しゆうちゆうし 自だし 土こえを 聚せんげんす 中よいかな 出よいかな 聲善哉。

讚言。善哉 善哉。

以下はお釈迦様の教え(經)であります。ある時、お釈迦様(仏陀・釈迦世尊)が呪文(靈妙な呪言、陀羅尼?・・・)を説き(唱え)ました。すると多くの「仏様と如来(弟子)」が土より湧き出て来て、みんな集まって声を挙げ、お釈迦様のおっしゃった教えを大いに褒め讃えました。よいかなよいかな、なんと素晴らしいことでしょう。

☒2 釋迦世尊しやかせせん 出いでて 二じよくあくのよを 濁惡世ため 一りする、爲なく 利たすけ 二なき 無たのみ 依しゆじようを 無えん 怙せつ 衆生ふかきほうを 一ごとし、演かくの 說深法 一如 是。

お釈迦様は、汚れと悪に満ちたこの世に出現 現生まれながらも悟りを開き 現さ 現れ 現て、抛り所や頼るもののない衆

生・民衆を援ける(利する)ため意義深いとでもありがたい教えをみんなに説きました。

☒3 法要ほうのかなめは 久住ながく 二じゆうし 世間せけん 一せけん、利益廣多りやくこうた 安穩快樂あんのかいらく。

その教えの真髓(肝心要)が長くこの世の中に留まって、利益が広く多くの人に行き渡るように、また、安心して楽しく暮らせるようにということでもあります。

☒4 若有もしありて 二あくにん 惡人しして 一おち、死じごくに 墮うけ 二くを 地獄なく 一あいだも、受めんだつすること 苦ない 無おわりは 間免 脱無 一期。

しかし(もしも)、仏法を信ぜず邪惡の心を持った人なれ (と縁ある人になると) ば、死んで地獄に落ちて、免

れ脱する暇あいだもなく苦しみを受けることになり、終わることはないでしょう。

☒5 有ありて 二そのこ 其子しやうし 一もうじやのなを、稱となえ 二じようして 亡者名しんしゆを 一わずかに、誦いたれば 上ななつがあまねき(く) 二神咒 一纒 至二七 遍一 洋銅熱鐵ようとうねつてつ、

忽こつぜんとして 然へんじて 變はつとくどのいけに 爲はすしやうず 二八功德池 一蓮生 云云。

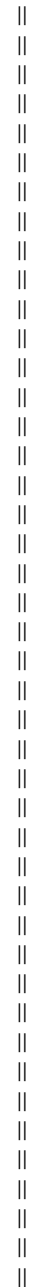
そこで(しかし)、その悪人の子孫(広く後世の人、今世の私達)が亡くなった人の名を呼んで救済の呪文を唱えることにします。(「纒至七遍」を次の3とおり想定しました。)

<p>✓ 1 その時、細やかでも、仏教の經典に説かれる七つの宝（七重宝樹）の全てを捧げるが如くの無私・純粹な気持ちを持つならば、</p>	<p>✓ 2 その時、細やかでも、七つの宝（七重宝樹）がみんなに行き渡るように、（届けられるように）無心に無償の愛を以って祈るならば、</p>	<p>✓ 3 その時、僅かにたった7回その呪文を唱えれば、</p>
--	---	-----------------------------------

煮え滾る銅及び熱く溶けた鉄の海^{あびきようかん} || || 阿鼻叫喚の地獄が、突然として八功德の水で満たされた池に変わり、そこに蓮が生え極楽浄土になるのです。そうして亡者（悪人）は極楽に生まれ変わり、さらには神咒を唱えたこの世の人も幸せになることでしょう。

☒ 6 安永七^は戌年十月十五日 村山郡平清水村妙現尼

安永7^{つちのえいぬ} 戌^は戌年（西暦1778年）10月15日、村山郡平清水村妙現尼（おゆき）が願主となって建立したものです。



以上の意識に当たって、一番思慮したのが☒5「纒至七遍」部の意味合いです。

ポイントは「遍」の読み方は如何に！です。^{あまね}（※1）遍くとみるか、^{あまね}（※2）度数を数える語としてみるのかということ。私はこの二通りについて考えて見ました。

その1；

☒5の√1・√2の理解を援ける根拠についてです。

(※1)「^{あまね}遍く」と理解した場合は、「<https://www.ameba.jp/>」を参考に☒(表)-7のとおり整理しました。

☒(表)-7

『阿弥陀経』の一説に「極楽国土 有^レ七^ノ宝^ノ池 八^ノ功^ノ徳^ノ水 充^レ満^ル其^ノ中」がある。
(うしつぽうち) (はつくとくすい) (しゅまんごちゅう)

極楽の国土には、七の宝（七重宝樹）の池があり、その中には八つの功德の水が充滿している。

・七つの宝とは、①金、②銀、③^{るり}瑠璃、④^{はり}玻瓈、⑤^{しゃこ}磝磝、⑥^{あかだま}赤珠、⑦^{めのう}碼瑙

・八つの功德とは、①^{ちようじよう}澄浄、②清冷、③甘美、④^{じゆんたく}軽軟、⑤^{じゆんたく}潤澤、⑥安和、⑦^{じよきかつ}除飢渴、⑧長養諸根
(根とは六根のこと)

須弥山——古代インドにおける世界観の中心にそびえる聖なる山——を囲む七つの海にある。

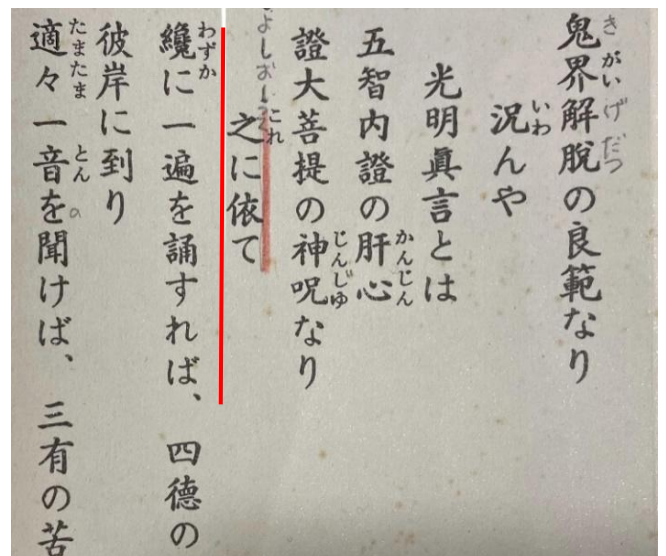
思うに、佛教においては、七（七宝の七）と八（八功德の八）を組合せて、相関対を意識して重用していることが窺われます。

私は、√1～√3（前頁下段）の中で、√2の解釈を適切（ベター）ではないかと思っています。

その2；

☒5の√3の理解を援ける根拠についてです。

(※2)「度数を数える語」として理解した場合は、☒-8は平泉寺難波住職から頂戴したとある御経本の一部ですが、「光明真言とは・・・纒に一遍を誦すれば・・・」がヒントになって、「七遍」を七度、七回と解釈することにしたものです。



☒-8

4. 石工のこと

同塔の南面右下の台座には、図5-9のとおり「石工 片岡仁兵衛」「林門兵衛」と刻字されています。

「信州石工 出羽路旅稼ぎ記（村山民俗学会）」によると、石工の片岡仁兵衛は、信州は高遠から来た人達の一人（親分）ではなかったかという説を記述しています。

片岡家は山形市旅籠町（今の山形新聞社駐車場）に屋号を「信濃屋」として石工を開業していたが、昭和49（1974）年廃業したとのこと。

なぜ、山形に信州の石工なのか？ 以下は私の要約です。

- ・最上義光（最上氏第11代当主、出羽山形藩の初代藩主）に請われて山形城の石垣築造に関わった？
- ・集団出稼ぎで来た？
- ・保科正之（会津松平家初代⇒信濃国高遠藩主⇒出羽国山形藩主⇒陸奥国会津藩初代藩主）の山形転封に従って来た？

などの諸説があるようです。

建立以来240年以上経過しているが、刻字が明瞭であります。安っぽいデジカメでも図-3a～図-6aのように撮影出来ます。良質の堅い石を探し深く掘ったという腕利きの良い石工の職人技の技量表出と思っています。

なお、本件宝篋印塔については、前出同本には記載されていません。

5. 「宝篋印陀羅尼経」の一節

標記の経をキーワードとしてインターネット検索した結果についてです。

「SAT 大正新脩大藏経テキストデータベース」――東京大学大学院人文社会系研究科次世代人文学開発センター――サイトに次頁図-10のところが載っていました。

同図において、下線の部分は前記11頁図4・図5の節と一致します。

したがって、「宝篋印陀羅尼経」の一節（一部）を取り込んだということは分かりました。



図-9

Link to the [version 2015](#) Link to the [version 2018](#)

ホーム 検索 ご挨拶 組織 利用条件 使い方 English

大正蔵検索 - 再検索

punctuation

Search word : "寶篋印陀羅尼經" : Including related character : [寶篋印陀羅尼經](#) [宝篋印陀羅尼經](#) [寶篋印陀羅尼經](#) [寶篋印陀羅尼經](#) [宝篋印陀羅尼經](#)

16 hits : 1 --- [keyword count] : 17

寶篋印陀羅尼經	Search in detail	
<input type="checkbox"/> 密教部 <input type="checkbox"/> 事彙部・外教部・目錄部 <input type="checkbox"/> 續經疏部 <input type="checkbox"/> 續諸宗部	Search in detail	<p>一切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經 (No. 1022A) 0712a15 - 0712a16: 切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經 [show] (1 hit)</p> <p>一切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經 (No. 1022B) 0714c23 - 0714c28: 儀軌離部第八不空所譯寶篋印陀羅尼經同本而其異不少也此本者遍照金剛及慈覺智證三師之請來文義通暢也先亮汰和上註此本行天 [show] (1 hit)</p> <p>續一切經音義 (No. 2129) 0958a03 - 0958a03: 一切如來寶篋印陀羅尼經一卷 [show] (1 hit)</p> <p>續一切經音義 (No. 2129) 0959b05 - 0959b08: 不可觸其尾也一切如來寶篋印陀羅尼經一卷 [show] (1 hit)</p> <p>大唐貞元續開元釋教錄 (No. 2156) 0767a18 - 0767a18: 切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經六紙 [show] (1 hit)</p> <p>貞元新定釋教目錄 (No. 2157) 0923a12 - 0923a12: 切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經 [show] (1 hit)</p> <p>貞元新定釋教目錄 (No. 2157) 1011a10 - 1011a10: 切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經 [show] (1 hit)</p> <p>貞元新定釋教目錄 (No. 2157) 1028a05 - 1028a06: 切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經六紙大興善寺 三藏沙門大廣智不空奉詔譯貞元新入目錄 [show] (1 hit)</p> <p>入唐新求聖教目錄 (No. 2167) 1079c22 - 1079c23: 切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經一卷不空 [show] (1 hit)</p> <p>諸阿闍梨真言密教部類總錄 (No. 2176) 1120c12 - 1120c13: 切如來心祕密金身舍利寶篋印陀羅尼經不空譯貞元新入目錄圓覺海列外 題仁珍列內題 [show] (1 hit)</p> <p>觀經疏傳通記 (No. 2209) 0510c10 - 0516a20: 亡者即出地獄往生淨土寶篋印陀羅尼經云若有惡人死墮地獄受苦無間免脫無期有其子孫稱亡者名誦上神呪纔至七遍洋銅熱鐵忽然變 [show] (1 hit)</p> <p>薄雙紙 (No. 2495) 0628c15 - 0628c15: 寶篋印陀羅尼經法 [show] (1 hit)</p> <p>薄草子口決 (No. 2535) 0204c11 - 0204c12: 切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼經不空譯 [show] (1 hit)</p> <p>諸回向清規 (No. 2578) 0669a04 - 0669a05: 婆 率都波 率堵波見寶篋印陀羅尼經 ○率都婆之圖形 [show] (1 hit)</p> <p>器朴論 (No. 2681) 0024a26 - 0025c14: 經法鼓經尊勝陀羅尼經寶篋印陀羅尼經阿彌陀思惟經陀羅尼集經隨求陀羅尼經光明真言經請觀音經須彌四域經藥師如來本願經轉女 [show] (1 hit)</p> <p>器朴論 (No. 2681) 0025c19 - 0027b12: 用諸行莫謂不回向淨土寶篋印</p>

着目個所

